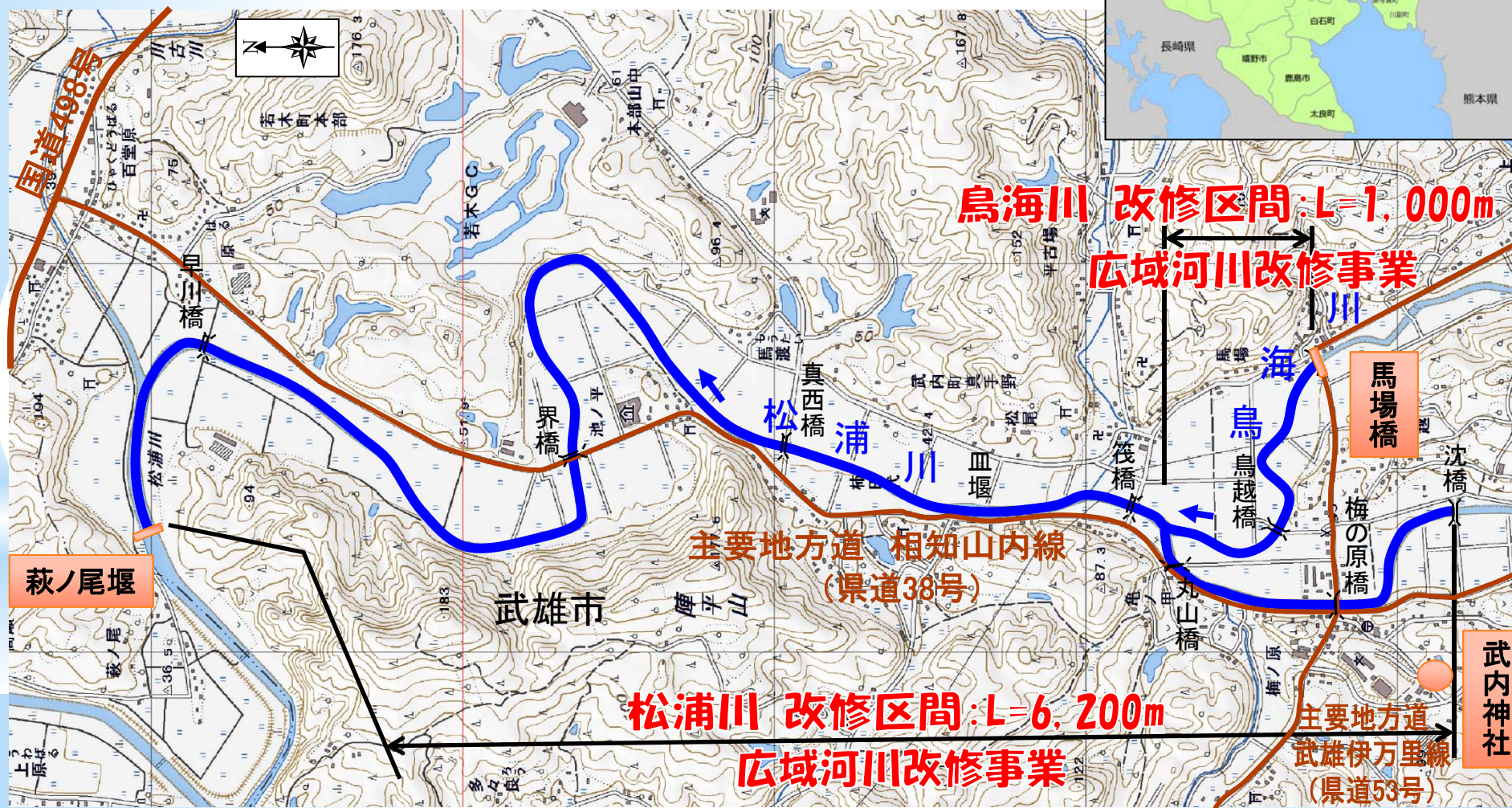


松浦川水系松浦川  
河川整備交付金事業  
(広域河川改修事業)

武雄市武内町

(再評価実施後5年が経過)

# 位置図



## 事業目的

流下能力不足による浸水被害が発生

平成2年7月洪水

浸水戸数 床上浸水 13戸

床下浸水 93戸

浸水面積 146ha



### ○浸水被害の軽減を図る

- ・ 河道拡幅、河床掘削を実施
- ・ 治水安全度の向上を図る

計画流量  $800\text{m}^3/\text{s}$

計画治水安全度  $1/30$

# 平成2年7月（梅雨前線）松浦川

床上浸水 13戸  
床下浸水 93戸  
浸水面積 146ha



連続雨量455mm  
最大日雨量271mm  
時間最大雨量61mm  
(国土交通省 池ノ平観測所)

真西橋左岸上流の浸水状況

梅の原橋付近の浸水状況



# 平成21年7月（梅雨前線） 松浦川



梅の原橋付近の浸水状況

連続雨量391mm  
最大日雨量229mm  
時間最大雨量48mm  
(国土交通省 池ノ平観測所)



← 松浦川

主要地方道 相知山内線の浸水状況



梅の原橋下流の状況

# 平成28年6月（梅雨前線） 松浦川

浸水面積 **31ha**



主要地方道 相知山内線の浸水状況

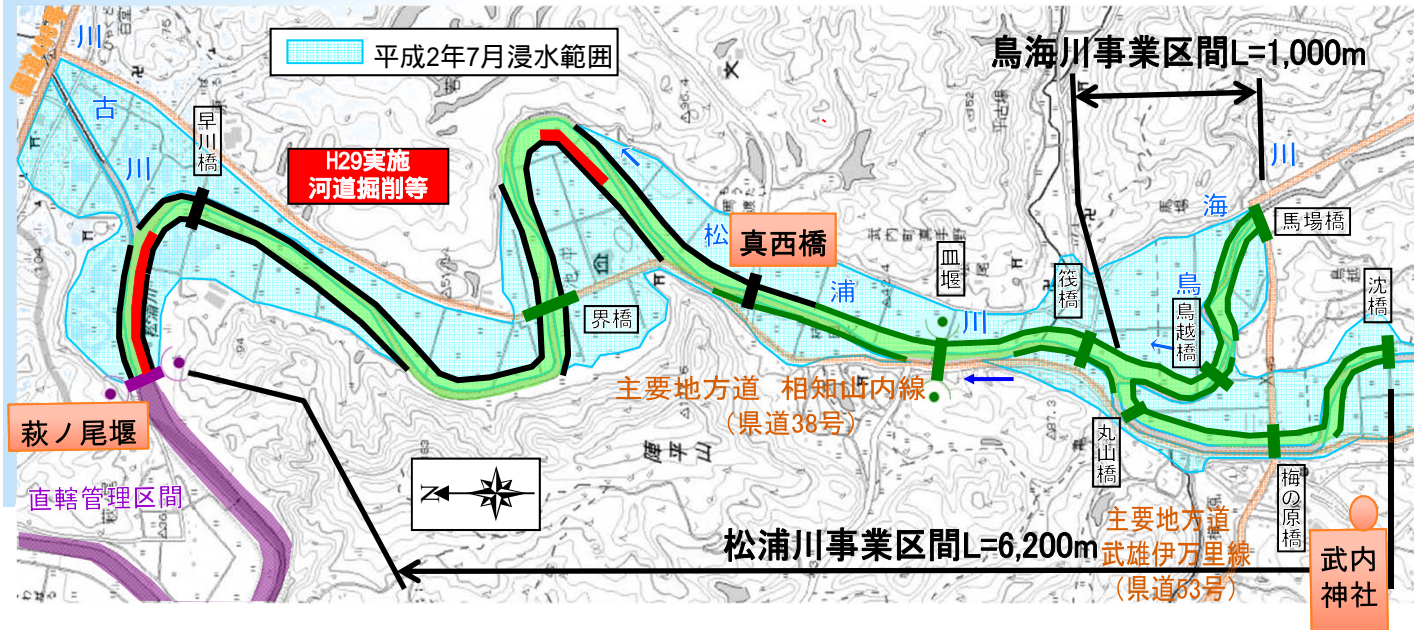
連続雨量280mm  
最大日雨量275mm  
時間最大雨量37mm  
(武内観測所)



松浦川



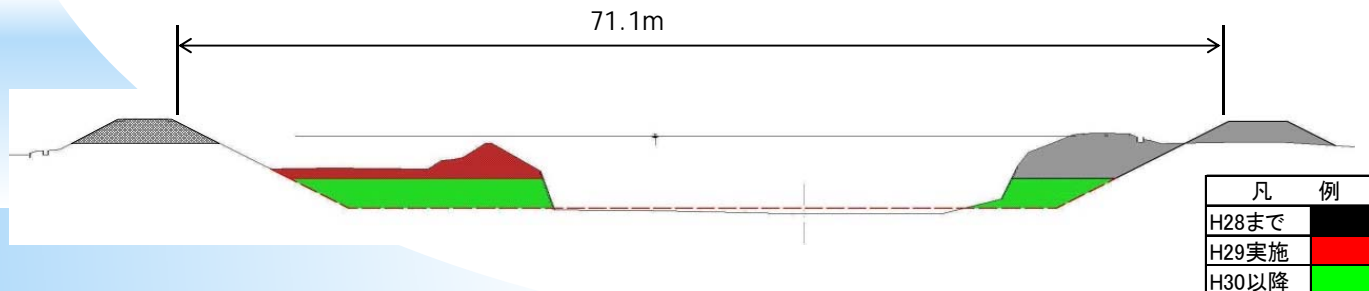
# 松浦川広域河川改修事業 着手年:平成14年度 事業地:武雄市



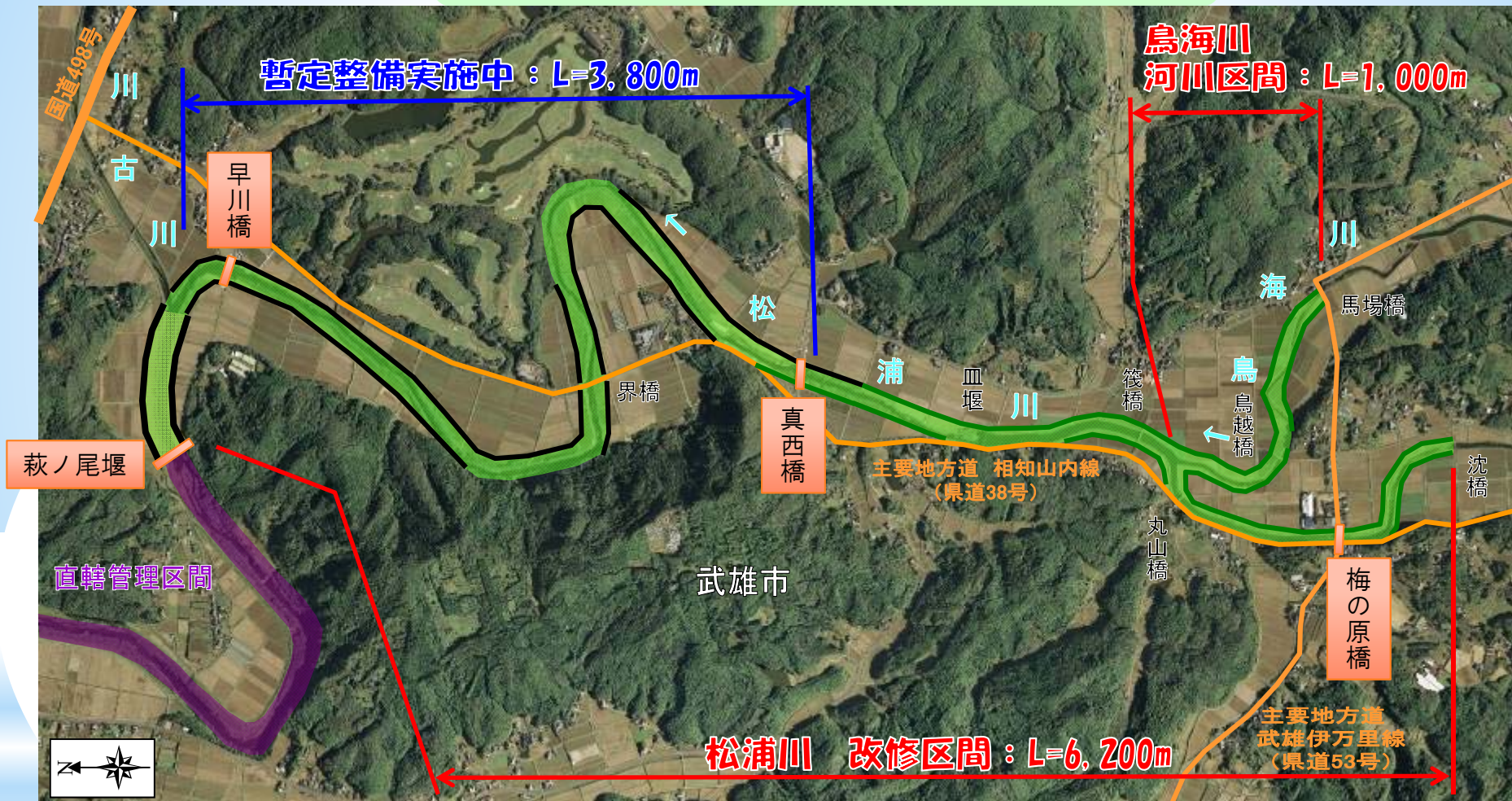
## ○事業概要

- ・全体事業費  
6,070百万円
- ・事業期間  
H14~H42
- ・改修延長  
松浦川:6,200m  
烏海川:1,000m
- ・計画流量  
800m<sup>3</sup>/s
- ・計画治水安全度  
1/30
- ・築堤・掘削・護岸、  
橋梁8基、堰1基
- ・費用対効果  
1.31

標準横断面図



# 松浦川 航空写真



— 完了区間  
— 未完了区間

## ○事業進捗状況

- ・現在、治水安全度1/10に対応するための整備を下流から実施中
- ・H28年度末進捗率 53%(事業費ベース) ・年平均進捗率 3.5%



# 堤防完成区間の状況

早川橋上流の状況



# 上流部未着手区間状況

梅の原橋下流の状況



# 多自然川づくりの状況

従前のブロック積護岸を取壊し、土堤としたことで、水際の植生が活着し空間の連続性が創出されている。

着工前：ブロック積護岸



施工後3年

真西橋下流の状況



## 事業を巡る社会情勢等の変化

- 氾濫区域内の土地利用について、平成24年度以降の大規模開発や宅地造成は確認されない。
- 武雄市全体の人口は減少傾向である。
- 近年も度々浸水被害が発生している。

# 費用対効果の要因の変化

## 全体事業費の増額及び工期延伸による費用対効果の減

総費用額C: 治水施設の整備及び維持管理に要する費用  
(建設費、維持管理費(事業完了後50年間))

総便益額B: 治水施設整備によってもたらされる総便益額(被害軽減額)

・一般資産被害(家屋、事業所等)	3,306百万円
・農作物被害(水稻、畑作物等)	223百万円
・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁等)	5,580百万円
・間接被害(事業所の営業停止被害、清掃費用等)	612百万円
・残存価値	136百万円

総費用C: 7,520百万円

総便益B: 9,857百万円

費用対効果

$$B/C = 9,857 / 7,520 = 1.31$$

# コスト縮減や代替案等の可能性

- コスト縮減  
再生材や現地発生材の利用を図る。
- 代替案の検討  
特になし

## 対応方針(事業課案)

### 河川改修の効果

①治水安全度の向上

②平成2年7月洪水による

床上浸水 13戸

床下浸水 93戸

浸水面積 146ha の軽減

③地域住民の安全・安心な暮らしに寄与

### 今後の事業展開

・事業を継続し、早期完成を図りたい